

都道府県名：山形県	市町村名：鶴岡市
1. 活動名 先人から受け継ぐ栃の木の森保全事業	
2. 取組の背景、目的 行沢（なめざわ）集落では江戸時代に水田の灌漑と栃の実を利用した副業を目的に栃の木を植林してきました。 しかし近年、様々な事情で栃林の管理が疎かになり、栃の木に藤などの蔓類が絡まり、大きいものでは直径 30cm 以上にも達する状態になっている。 大樹の栃の木でも、蔓から脅かされる状況となっている。先人から受け継ぐ地域共有の栃の木の森を、次世代後世に引き継ぐために、数年前から共同作業で管理、保全活動を実施している。	
3. 実施主体 行沢自治会	
4. 取組の概要 開催日：6月21日、7月5日、7月26日、9月13日、11月29日 開催場所：鶴岡市行沢地内 活動スタッフ内訳：地区民、大学教授、院生 内容及び参加者数 (1) 栃の木の森観察会（地区民 26 名） (2) 作業道の草刈り作業（地区民 26 名） (3) 栃の木の蔓切り・手入れ作業（地区民 29 名） (4) 栃の実収穫のための道つくりと栃の実拾い（地区民 12 名） (5) 森林学習会（地区民 36 名） 参加料：無料	
5. 支援事業 県民みんなで支える森・みどり環境公募事業 補助率：10/10	
6. 取組等についての成果や課題 【成果】 栃の木の森に入ることの少ない子どもや親が観察会を行い、森への理解へとつながったと思う。また、大きくなりつつある蔓を切る作業を行い、一部はきれいになったが、今後も森林学習会などで理解を得ながら、作業を継続していきたい。 【課題】 地区の共通認識を得ることはなかなか困難だが、楽しく活動を続けていきたい。	



森林観察会で木の実を採りました。



大きくなった蔓を切りました。



栃の実を収穫しました。



森林学習会を開催しました。